**図書館を利用しよう**

年　　組　氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

皆さんは、学校図書館で読書をしたり知りたいことを調べたりしてきましたね。家の近くの図書館も利用していることでしょう。学校図書館のほかには、どんな図書館があるのでしょう。

１　図書館の種類

（１）公共図書館

公共図書館は、公立図書館と同じ意味に使われることが多いのですが、正確には、地域住民のための図書館を公共図書館といい、その中で地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といいます。

・区市町村立図書館→新宿区立図書館・文京区立図書館など

・都道府県立図書館→東京都立図書館・埼玉県立図書館など

公共図書館の中には、私立図書館もあり、図書館法に基づいて運営されている私立図書館は、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館のことをいいます。新宿区には、「東京子ども図書館」という私立図書館があります。

そのほかにも、専門図書館や企業が運営している図書館もあります。

（２）国立国会図書館

国立国会図書館は、国会議員・司法・行政のため、国民のため、資料保存のための図書館です。

２　新宿区立図書館

新宿区立図書館には、中央図書館、こども図書館、８つの地域館があります。どの館の資料も近くの館で借りることができます。

　 ・新宿区立中央図書館（西早稲田）

・新宿区立こども図書館（西早稲田）

・四谷図書館　　　　　　　　 ・鶴巻図書館　 ・下落合図書館

・西落合図書館　　　　　　　・戸山図書館

・北新宿図書館　　　　　　　・中町図書館

・角筈図書館　　　　　　　　 ・大久保図書館

３　東京都立図書館

資料は、閲覧のみです。利用者の年齢制限は、ありません。

　・都立中央図書館（広尾）

185万冊のうち手にとって自由に読める本が35万冊あります。何か研究するとき

の強い味方です。

　　・都立多摩図書館（西国分寺）

「東京マガジンバンク」や「こどものへや」「青少年エリア」などがあり、雑誌や児童書が充実しています。

４　国立国会図書館

資料は、購入もしますが、納本制度があります。本を出版したら発行者が納本します。

　　・国立国会図書館東京本館（国会議事堂前）

　　・国立国会図書館関西館（京都府相楽郡）

東京本館、関西館は、18歳以上の利用で、資料は、閲覧のみです。必要なページは、有料でコピーしてもらいます。インターネットでのオンラインサービスもあります。

　　・国際子ども図書館（上野）

誰でも自由に児童書が読めます。お話会や展示会もあります。

５　レファレンスサービス

どの図書館にもレファレンスカウンター（読書案内・読書相談）があり、必要な資料を探すお手伝いをしてくれます。知りたいことを的確に伝えることが大切ですが、気軽に聞いてみましょう。

６　インターネットサイトの利用

　（１）新宿区立図書館

　　　　資料の検索や予約ができます。新宿区の地域資料も調べることができます。「こどもページ」や「10代のみなさんのページ」からおすすめの本にも出会えます。

　（２）東京都立図書館

　　　　「統合検索」で、都内の公立図書館の資料検索ができます。「ビブリオバトル」や「児童・青少年」のサイトなど盛りだくさんです。

　（３）国際子ども図書館・国立国会図書館

　　　　「キッズページ」では、国立国会図書館のことがよくわかります。昔の貴重な本も写真で見ることができます。